

事業報告 卒業生を囲む会

広報委員会 副委員長 山本 奈央

2026年6月27日(土)に、卒業生10名を含む34名が参加し卒業生を囲む会を開催しました。一昨年に続き、今年も委員長メンバーのみで構成された委員長会が企画した事業です。

今年は淡路島経由で香川県へ。今回のメイン企画が「エンタメ型うどん作り体験」とのことで、「中野うどん学校」を訪問。そこでは、うどんをこねて、均等に切ってみたり、うどんを踏んでコシを作ったりと、全員でうどん作りを楽しみました。特に、うどんを踏む工程では、BGMが流れ全員がノリノリで盛り上がる中でのうどん作りとなりました。昼食は、手作りのうどんをいただきました。その後は、香川県名所の「栗林公園」にて集合写真と散策、また香川の中心地である商店街にて自由行動時間もあり、絶品の骨付鳥を堪能するなど、それぞれの楽しみ方で過ごしました。

行き帰りの道中でも、毎年恒例となりつつある卒業生にちなんだクイズやビンゴゲーム等、始終盛り上がり、笑顔の絶えない1日であったかと思います。委員長会の皆様、旅行企画のプロでもある会員の岡田さんのアテンドにて成り立ったバスツアーであり、企画準備有難うございました。また、主役の卒業生の皆様が大いに楽しんでいただいた様子であったことは間違いなく、会員同士の親睦も深まった、思い出に残る事業でした。



入って良かった青年部

総務委員会 有友 明生

青年部の有友明生と申します。私は阪神甲子園駅からスキップで5分の場所で、和食割烹「和味旬彩 菟喜」を営んでおります。



2019年10月にオープンし、カウンター11席の小さなお店で、旬の食材とお客様との会話を大切にしながら営業しています。おかげさまで地域の皆さまに支えられ、日々楽しく包丁を握っています。

青年部に入会したのは、「地域とのつながりを広げたい」「経営者として成長したい」という真面目な理由でした。実際に入ってみると、それ以上に多くの出会いと学びがありました。

飲食店をしていると、どうしても厨房と店内が世界の中心になりがちです。ところが青年部には、建設業、不動産業、製造業、サービス業など、さまざまな業種の方がいて、自分とは違う視点や考え方に触れることができます。「そんな発想があったのか!」と感心することもあれば、「みんな同じことで悩んでるんやな」と安心することもあります。

また、事業やイベントを通じて交流を深めるうちに、気付けば相談できる仲間や応援し合える仲間が増えていました。懇親会では笑いも多く、気が付けば参加するたびに元気をもらっています。

商売は一人でもできますが、地域を盛り上げるのは一人ではできません。青年部には、地域を良くしたいという熱い思



いを持った仲間がたくさんいます。入会して以来、人とのご縁の大切さを改めて感じています。

これからも青年部活動を楽しみながら、地域に愛される店づくりとまちづくりに貢献していきたいと思います。青年部は、学びあり、出会いあり、笑いあり。私にとって、入って良かったと思う場所です。

